

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-10-06

なし

(発行年 / Year)

1910

第十一節 寄託

(理由) 本節ハ取得編第十章第一節第一款ニ該當ス既成法典ハ財産取得編第十章第二節ニ分テ第一節ヲ寄託ト題シ第二節ヲ保管ト題セリ所謂保管ハ寄託ノ一種ニ外ナラス而シテ本案ニ於テハ特ニ之ニ關スル規定ヲ置クコトヲ不必要トセリ蓋レ保管ハ爭ノ目的物ヲ勝訴者ニ返還スヘキコトヲ約シテ之レカ寄託ヲ受クルモノニ外ナラス本案ニ於テハ寄託者一人アル場合ニ於テ受託者ハ必ス二人ノ寄託者ニ返還ヲ爲スヘキモノト爲ササルヲ以テ若シ當事者カ寄託者中ノ一人タル勝訴者ニ寄託物ヲ返還ヲ爲ス可キコトヲ定メタルトキハ其契約ハ固ヨリ有效ナリト又他民法其他之ニ依ヒタル諸國ノ法典及ヒ既成法典ニ於テハ保管ハ有償タルコトヲ得ルニ寄託ハ無償ヲラサル可カラサルモノトセルカ故ニ或ハ寄託ト保管トヲ區別スルノ便ナキニ非サル可レト雖モ本案ニ於テハ後ニ説明スル如ク寄託ヲ以テ無償契約ト爲ササルカ故ニ此點ニ於テ通常ノ寄託ト保管トヲ區別スルノ必要ヲ見サルナリ若夫レ既成法典ニ於ケルカ如ク寄託ノ目的物ハ動産ニ限ルモノトシ保管ノ目的物ハ動産又ハ不動産タルコトヲ得ヘキモノトセハ寄託ト保管トヲ區別スルノ理由ナキニ非スト雖モ寄託ノ目的物ハ動産ニ限ルモノトスルハ其當ヲ得サルヲ以テ寄託ト保管トヲ差異ハ此點ニ於テモ亦存セサルナリ又既成法典ニ於テハ受託者ト保管者トノ間ニ注意ノ程度ニ付キ差異ヲ設ケタリ是レ寄託ハ無償ニシテ保管ハ有償又ハ無償タルコトヲ得ルカ故ナラン然レドモ本案ニ於テハ寄託ハ有償又ハ無償タルコトヲ得ルモノトシタルヲ以テ注意ノ程度ニ付キ此ノ如キ等差ヲ設ケ可キ理由ヲ見サルナリ又爭ノ目的物タル

物ノ寄託ニアリテハ訴訟ノ終局ニ至ルマデ其物ヲ保管シ正當ノ事由ナキ限りハ總當事者ノ同意アルニ非レハ訴訟ノ終局前ニ之ヲ返還スルコトヲ得ザルモノト規定スルノ必要アルヘシト雖モ訴訟ノ終局ハ要スルモノノ返還期限ニ外ナクサルヲ以テ當事者ノ契約ニ依リ自由ニ斯ク知キ定テ爲スコトヲ得ヘク所謂保管ニ關シテノ如此特別ノ規定ヲ設クルヲ要セザルナリ以上述フル所ニ依リテ見ルトキハ特ニ保管ナル名稱ヲ設ケテ特別ノ規定ヲ設クルノ必要ノ存セザルヲ知ル可シ若ク夫レ裁判上ノ保管ヲ規定スルノ必要アルハ寧ろ民事訴訟法ニ於テ之ニ關スル規定ヲ設クルヲ可トス

既成法典ノ寄託ヲ分テ任意寄託、急迫寄託及ヒ旅店寄託ノ三トナセリ諸國ノ法典ニ於テモ亦種々ノ名稱ヲ用ヒテ數多ノ區別ヲ爲セリ然レトモ水火等ノ長害ニ際シテ物ヲ他人ノ家ニ投テ其被害ヲ避ケントスル場合ニ寄託ノ成立スルモノトスルハ寄託者ノ爲メニ利益ナルコトハ論ヲ俟ヌト雖モ受託者ハ保管ノ義務ヲ負ハサル可カラサルヲ以テ其危險大ナリト云フ可ト云フ可ト云フ可ト云フ如キ場合ニ在リテハ實際ノ事情ニ照シテ默示ノ寄託ノ成立シタルモヤセヤヲ決スヘシ之ニ反シテ旅店ニ持込タル旅客ノ手荷物等ニ關スル規定ハ之ヲ置テノ必要アリ然レトモ湯屋又ハ料理店ノ如キモノニ付テモ亦客ノ攜帶品ノ上同一ノ權利アリトスル規定ヲ設ケサル可カラズ故ニ是等ノ特別營業者ニ關スル規定ニ總ノ商法ニ關コトトナセリ又運送人ニ關スル規定ハ商法ニ之ヲ設テキヲ以テ荷物ニ關スル運送人ノ責任ハ之ヲ商法ニ規定スルヲ便トス以上述フル所ニ依リ本節ニ於テハ既成法典ニ所謂任意寄託ニ關スル規定ノミヲ掲ケテ取得編第二百七條ニ之ヲ置テノ必要ナキヲ以テ削除セリ其他ニ

第六百六十四條(六五六)

削除シタル規定ナキニ非スト雖モ其理由ハ後ニ至リテ説明スヘシ

(理由) 本條ハ寄託ノ性質ト寄託ノ發生ノ主要ノ義務トヲ規定シタルモノナリ寄託ノ要物契約タルコトハ諸國ノ法律ニ於テ一般ニ認ムル所ナリ唯瑞士債務法ノ之ヲ以テ締成契約トナシ本條ニ於テハ從來ノ例ニ倣ヒ寄託ヲ以テ一ノ要物契約ナリトセリ又寄託ノ目的物ハ動産ニ限ルモノトスルハ既成法典其他多數ノ立法例ニ於テ見ル所ニシテ編リ換民法ノモハ反對主義ヲ採リ寄託ノ目的物ハ動産又ハ不動産タルコトヲ得ルモノト爲セリ本條ニ於テハ寄託ノ目的物ハ動産ニ限ルモノトスルノ理由ヲ認メサルヲ以テ既成法典ノ主義ヲ採用セス又既成法典ニ於テハ舊民法及ヒ其他ノ法典ニ倣フテ寄託ヲ無償契約ト爲セリ然レトモ取引ノ煩雜アル今日ニ於テ寄託ヲ無償ト爲スハ極メテ實際ニ適合セサルヲ以テ獨乙民法草案及ヒ瑞士債務法ノ主義ニ倣フテ受託者ハ報酬ヲ受タルコトヲ得ヘキモノトセリ又既成法典ニ於テハ受託者ノ寄託者ノ要求次第寄託物ノ返還ヲ爲スコキ事ヲ以テ寄託ノ要索ト爲レリト雖モ本條ニ於テハ此ノ主義ヲ採用セス尤モ取聞テレテ第六百六十九條ニ於テ受託者ハ寄託者ノ請求ニ依リ寄託物ノ返還ヲ爲スヘキ義務ヲ負フモノト定メテ然レトモ一定ノ期限ノ到來スル迄ハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ザルモノト便ナル場合ナキニ非サルヲ以テ特約ヲ以テ其適用ヲ避クル事ヲ得セシメリ

取得編第二百八條ハ言フヲ依テサルヲ以テ之ヲ削リ同第二百九條第一項モ亦同一ニシテ其第二項

ハ不審判得又ハ不法行為ニ關スル原則ノ適用ニ外ナラス又第二項ノ侵害ノ刑事ニ關スル規定ナルヲ以テ之ヲ民法ニ置カサルコトニセリ

第六百六十五條(六五七)

(理由) 凡ソ寄託者ハ受託者ヲ信スルヨリシテ之ニ寄託ヲ爲シタルモノナルカ故ニ受託者ハ其信用ニ背キテ受寄物ヲ使用シ又ハ第三者ヲシテ之レヲ保管セシムルコトヲ得可キモノニ非ラズ然レトモ此事タル寄託ノ要素ニ非サルヲ以テ反對ノ契約ニ依リ木條ノ適用ヲ避クルコトヲ得ヘシ取得編第二百十三條ニハ受寄者カ第三者ヲシテ受寄物ヲ保管セシムルヲ得サルコトヲ規定セ又其第二項ハ寄託者ハ受寄者ニ物ヲ使用ヲ許スモ使用賃借ニ成立スルモノニ非ラコトヲ規定セリト雖モ木條ニ於テハ其必要ヲ認メサルヲ以テ之レヲ附シ

受寄者ハ第三者ヲシテ受寄物ヲ保管セシムル場合ニ於テハ如何ナル關係ヲ生ス可キ乎此場合ニ於テハ復代理ノ關係ト殆ト異ナル所クキヲ以テ第百六十六條第百八條ノ規定ヲ適用スヘキコトニセリ

第六百六十六條(六五八)

(理由) 木條ハ本條第三百九十八條ノ例外ヲ規定シタルモノナリ今寄託ノ場合ニ於テ右第三百九十八條ノ規定ヲ適用ス可キモノトセハ受寄者ノ責任重キニ過ルモノト謂フヘシ寄託ノ無償ナル場合ニ於テ特ニ然リトス凡ソ寄託者ハ受寄者カ自己ノ財産ヲ管理スルニ幾何ノ注意ヲ用ユルヤヲ見テ寄託ヲ爲セモノナルカ故ニ其自己ノ財産ヲ管理スルニ際シテ用ユル注意ノ程度ヲ超ヘテ受寄物ヲ保管ス

可キ事ヲ受寄者ニ求ムルハ陸ニ失スルノミナラス亦寄託者ノ望ニ超ユルモノト云フ可シ財産取得編第二百十條第二項ニ於テハ木條ノ規定ト同一ノ規定ヲ置キ第二項ニ於テ其例外ノ規定セリ受寄者カ自ラ求メテ寄託ヲ受ケタル場合ニ於テ注意ノ程度ヲ異ニスルハ其營ヲ得ヌ又自己ノ利益ヲ爲メニノミ寄託ヲ受ケタル場合ニ在リテハ使用賃借ノ存スルモノト稱ハサル可カラス商法第六百七條ニ於テ本條ト同一ノ規定ヲ設ケ第六百八條ニ於テ其例外ノ規定セリ然ラハ或ハ特別ノ規定ヲ設ケタルノ必要アルヘシ民法ニ於テハ只寄託ノ有償ナルト無償ナルトニ依リ受寄者ノ注意ノ程度ニ差等ヲ設ク可シ財産取得編第二百十三條ハ佛民法及ヒ其他ノ法典ニ於テ見ル所アリ若シ受寄者カ受寄物ノ性質ヲ知ルコトニ重キヲ置タトキハ其性質ヲ告グルヲ以テ契約ノ條件ト爲スコトヲ得レシ故ニ同條ノ適用ヲ生ス可キ場合ハ受寄者ノ契約ヲ取結セタル後ニ受寄物ノ性質ヲ知ラント欲スル場合ナラヘシ果シテ然ラバ受寄者カ物ノ性質ヲ告グルコトヲ寄託者ノ對シテ請求スルヲ得サル言フヲ俟タサル所ナリ又受寄者カ物ノ性質ヲ隠蔽セサル可カラサルヤ言フハ意思ノ解釋ニ依リテ決ムヘキ問題ナリトス

第六百六十七條(六五九)

(理由) 凡ソ寄託者ハ寄託物ノ所有者ナルコトヲ要セサルカ故ニ受寄者カ受寄物ノ寄託者ニ屬セサル事ヲ知ルモノ之カ爲メニ返還ノ義務ヲ免ル可キモノニ非ス受寄託者ハ何レノ場合ニ於テモ返還ヲ爲ササル可カラサルコト固トロ言フヲ俟タサルヲ以テ財産取得編第二百十六條ハ之ヲ附録セリ之ニ反

レテ第三者カ寄託物ニ付キ受寄者ニ對シテ訴フ提起シ又ハ差押ヲ爲シタル場合ニ受寄者ヲテ其事實ノ寄託者ニ通知セシムルコトヲ規定スルハ極メテ必要ナリトシ蓋シ寄託者ノ自己ノ利益ヲ保護セシムル爲メ參加又ハ異議ノ訴ヲ爲サント欲スル如キ場合アルヲ以テテ本條ニ於テハ已ニ負責借リ場合ニ於テ本條ニ類スル規定ヲ設ケタルヲ以テ前後權衡ヲ得ルノ必要アリ故ニ本條ノ規定ヲ設ケタルヲ財產取得編第二百十八條ハ受寄者カ返還ノ義務ヲ免ルル場合ヲ規定セリ受寄者カ自己ノ所有權ヲ主張シントモ法律ニ定ムル方法ニ依リテ其權利アルコトヲ證明セサル可カラズ故ニ原文第一號ハ不適當ナル文字ヲ以テ當然ノ原則ヲ示シスルニ過キサルヲ以テ之ノ削リ同條第二號ハ本案ノ留置權ニ關スル規定アルヲ以テ之ヲ置クノ必要ナレ又同條第三號ニ於テ受寄者カ拂返押ノ合式ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ返還ノ義務ヲ免ルルモノトナシタルハ甚ダ適當ナラス殊ニ同條第四號ノ規定ハ最モ其當ヲ得サルモノトス若レ第三者カ寄託物ニ付キ權利ヲ有スルトキハ自己ノ之ヲ主張シテ可ナリ受寄者カ受寄物ノ第三者ニ關スルコトヲ知りタル爲メ之ヲレテ種々ノ手續ヲ盡シシムルハ毫モ其必要ヲ具サズ所ナリ

第六百六十八條(六六〇)

(理由) 本條ハ財產取得編第二百十九條第一項末段ニ該當スル既成法典ノ物ノ爲メ受寄者ノ受ケタル損害トアリ其意若シ保管ノ爲メ受寄者ノ受ケタル損害トシテ在テハ寄託者ノ責任重キニ失スルモノト謂フ可シ思フニ既成法典ノ精神ハ本條ニ定ムル所ト同一ナルヘシト雖モ頗ル明瞭ヲ缺クヲ以テ

本條ノ如クニ修正セリ又本條ニ於テ損害ノ原因ヲ物ノ性質及シ租税ニ限リタル以上ハ但書ノ規定ハ缺ク可カラサルモノト謂フ可シ若シ此規定ナキトキハ解釋上疑ノ生スルヲ免ルベシナリ

第六百六十九條(六六一)

(理由) 本條ハ民法財産預備編第二百六條第一項及シ商法第六百四十一條ニ該當ス諸國ノ法典若シ本條ノ規定ノ如クナラサルハナレ既成法典ニ於テハ寄託者カ何時ニモ寄託物ノ返還ヲ請求レ得キ事ヲ以テ寄託ノ要素ト爲セリ寄託ハ寄託者ノ利益ノ爲メニ之ヲ爲スコト常ナリト雖モ又受寄者ハ一定ノ時期ニ至ル迄返還ヲ爲ササルコトヲ約スルニ付キ利益ヲ有スルコトナキニ非ズ故ニ本節ノ末條ニ於テ別段ノ定メヲ爲ス事ヲ許セタリ

第六百七十條(六六二)

(理由) 既成法典ニ於テハ本條ノ如キ規定ナレ故ニ返還ノ時期ヲ定ムルトキハ受寄者ハ如何ナル事由アルモ返還ヲ爲ス事ヲ得ニ又時期ヲ定メキトキハ受寄者ハ寄託者ノ請求ヲ受ルルマテ保管ヲ爲キサル可カラサルモノト解スルコトヲ得ヘレ其實際ニ於テ不便ナルハ論ヲ俟タサルノミナラス委任ノ場合ト權衡ヲ得サルモノト謂フ可シ又商法ノ規定ニ依リテ返還時期ヲ定ムル場合ハ民法ニ同レト雖モ返還ノ時期ヲ定メキ場合ニ於テハ受寄者ハ何時ニモ豫告期間ヲ遵守シテ返還ヲ爲スコトヲ得ヘレ此規定タルハ受寄者カ寄託物ヲ藏スル場所ニ差支ヲ生スルコトアルヲ慮リテ設ケタル規定ニ外ナラズ然レトモ寄託者カ寄託物ヲ藏スル場所ニ差支ヲ生スルカ如キ場合ハ極メテ少カルヘレ故ニ原則ト

レテハ報告期間ノ定メヲ爲スノ必要ナカル可キナリ寄託者ニシテ返還ノ時期ヲ定ムルノ券ヲ取リテ
リレトキハ何時返還ヲ受クルニ至ルヘキヤノ状態レテ可ナリ

第六百七十一條(六六三)

(理由) 本條ハ財産取得條第二百十七條ニ該當ス寄託物返還ノ場所ニ付キ何等ノ定メキ場合ニ於テハ
寄託物ヲ轉置スルモ其現在ノ場所ニ於テ之ヲ返還ス可キモノトスルハ當然ナラス受寄者ハ受寄物ノ
保管ヲ爲ス可キ場所ニ於テ之ヲ返還ス可キモノトスルハ當事者ノ意思ニ適スルモノト間フハ唯受
寄者カ惡意ナクレテ受寄物ヲ轉置シタルトキハ但書ノ規定ヲ適用ス可キナリ

第六百七十二條(六六四)

(理由) 本條ハ受寄者カ寄託者ニ返還又ハ賠償ヲ爲ス可キモノ及ヒ寄託者ハ受寄者ニ支拂フ可キ報酬
又ハ費用ニ關スル規定ナリ財産取得條第二百十四條及ヒ第二百十五條ハ之レニ關スル規定ヲ設ケテ
リト雖トモ多少不完全ナル所アルヲ以テ本條ノ如クニ修正セリ本條ニ於テ第六百五十四條ノ規定ヲ
準用スヘキコトヲ示シタルニ依リ寄託ヲ以テ無償契約トナス民法法典ノ主義ヲ採用セザルコトヲ知
ルヘシ

第六百七十三條(六六五)

(理由) 本條ハ主トシテ金錢其他ノ代替物ヲ以テ寄託ノ目的ヲ爲シタル場合ヲ眼中ニシテモノニレ
テ原物ヲ返還スルコトヲ要セザル等ノ點ニ於テ消費貸借ノ規定ニ依ルヘキモノトスルハ當事者ノ意

思ニ適フモノト然レトモ其保管ヲ主眼トスル點ニ於テハ消費貸借ノ場合ト大ニ其性質ヲ異ニス故
ニ返還ノ時期ノ定メナキトキハ寄託者ハ何時ニテモ返還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルモノトセリ

第六百七十四條

(理由) 本條ノ規定ハ寄託ノ性質ニ關スル第六百五十四條ノ除外旨任意ノ規定ナルヲ以テ本條ヲ設
ケテ其主旨ヲ明ニセリ